

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 10 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	防犯・防災設備の整備はできているが、夜間の職員体制が手薄で職員だけでは限界があり、近隣住民の協力が望まれる。普段から近所の住民と相互防災の協力体制を構築する必要がある。	防災対策の充実強化に取り組み、近隣住民との相互防災の協力体制を構築する。	防災設備会社の点検、消火訓練実施の機会に近隣住民にも声をかけ参加を呼びかけ、信頼関係ができた段階で協力をお願いする。	24ヶ月
2	13	火災の際の避難経路についてはあいまいなので、消防署の点検時等に専門家の視点で指導を受けて確認しておく必要がある。	火災の際の避難経路を確定する。	消防署の点検の際に火災発生時の対応について具体的に火災発生場所を何ヶ所か設定して避難経路を専門家の視点で示してもらい確定する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。